

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	502 レンタサイクル事業					
予算科目	01-070103-14			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	観光振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	自転車活用推進法、つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	つくば市民、つくば市来訪者
目的	レンタサイクルの貸出をとおして、移動の利便性の向上を図り、また、つくば市中心市街地や筑波山麓地域、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線地域等のビジネスや地域振興に寄与すること。
概要 (取組内容)	つくば駅及び筑波山口で自転車の貸出業務を実施する。 貸出しにあたり、申請書受理及び利用料金の徴収等を委託し、自転車の修理、日別・月別利用台数調査を実施する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	2,269	0	0	
	決算額	(千円)	1,512	1,372	2,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-888	-1,092	2,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	2,400	2,464	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,462	0	680	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.00	0.10	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、チラシ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	レンタサイクル利用台数 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5,400.0	5,500.0	5,600.0	5,700.0	5,800.0	0.0
	実績	4,945.0	3,464.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	つくば駅及び筑波山口での自転車の年度内貸出数					

2	指標名	レンタサイクル利用率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	30.0	32.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	25.0	23.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	レンタサイクルの総台数に対する1日当たりの利用率					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	つくばセンターで2,852台、筑波山口で612台の貸出実績となった。緊急事態宣言等により62日間の休止があったことから、いずれも対前年度比でマイナスとなったが、筑波山口の1営業日当たりの利用台数は、前年度比を上回り、レンタサイクルが三密を回避できるレジャー・移動手段として事業発展の見込みがあることが示された。	
課題	業務	令和3年度に開始を予定しているシェアサイクルとの移動手段としての役割分担や、中長期的なレンタサイクルの位置づけや事業規模を検討する必要がある。
	組織、予算等	自転車の老朽化による入れ替えや自転車置き場の環境整備にコストがかかる。
改善目標	周知・PRにより利用者数を伸ばしていくとともに、令和3年度のシェアサイクル事業が開始した後は、利用動向を把握・分析し、中長期的な事業計画を検討していける体制を作る。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	503 広域レンタサイクル事業					
予算科目	01-070103-14			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	自転車振興係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	自転車活用推進法、つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	つくば市民及びつくば市来訪者
目的	広域レンタサイクルの貸出により、市域をまたいだ広範囲の移動における利便性を向上させ、観光客や地元住民が地域を周遊する動機を図ることで交流人口の拡大と地域経済の活性化等を図る。
概要 (取組内容)	茨城県、対象地域の14市町村、国、企業、その他関係団体で構成する、つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会の中で県、関係8市町と広域レンタサイクル部会を構成し、レンタサイクル乗り捨てシステムの事業を展開していく。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	985	0	0	
	決算額	(千円)	514	985	830	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	514	985	830	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	731	0	680	705	705	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	10.00	0.00	0.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、チラシ等での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	広域レンタサイクル利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,600.0	2,700.0	3,000.0	3,300.0	3,500.0	0.0
	実績	3,115.0	3,044.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし
成果	つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会のサイクリングマップの増刷や、各種観光情報の提供としてつくば霞ヶ浦りんりんロードのPRを実施した。 つくば市内の貸出場所であるつくば総合インフォメーションセンターでは172台の貸出を行い、前年度比プラスを達成した。
課題	業務 コロナ禍、コロナ終息後を見据えつくば霞ヶ浦りんりんロードの認知度を高めていく必要がある。現在は貸出業務を単純に行っている状態に近く、よりつくば市の経済効果等につながる施策が必要である。
	組織、予算等 特になし
改善目標	ナショナルサイクルルート認定を受け、広域レンタサイクル事業を効果的にPRし、利用者増加を目指す近隣市町村と協働し、市域をまたいだサイクリングコースの構築に関するモデル事業を検討し、広域レンタサイクルの有効活用を目指す。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	570 地域公共交通網形成計画進行管理業務					
予算科目	01-080401-15			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	交通政策係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画			事業期間	期間限定複数年度	
根拠法令等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 交通対策基本法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	利便性が高く、持続可能な公共交通網の実現を図る。
概要 (取組内容)	つくば市公共交通網形成計画に掲げられた施策を着実に実行し、目標を達成していくために、交通施策の企画・調整及びアンケート調査等による計画全体の目標達成状況の点検、評価、改善等を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	22,717	13,433	13,433	
	決算額	(千円)	6,209	2,807	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,209	2,807	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	11,579	4,390	4,390	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	400.00	130.00	130.00	130.00	130.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	パブリックコメントの実施
企画・立案、計画	パブリックコメントの実施
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	施策の 9 項目の達成割合 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績	55.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	地域公共交通網形成計画の関連指標 9 項目の達成割合 (5年に一度の見直し)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	公共交通改編後の各交通施策の利用状況を分析することで、改編に向けた基礎データを整理するとともに、つくバス等の改善策について交通事業者と協議を進めた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	571 つくばエクスプレス利便性向上事業					
予算科目	01-080411-13			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約				係名	交通政策係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	つくばエクスプレス利用者の利便性を向上させる。
概要 (取組内容)	沿線区市と連携し、つくばエクスプレス利便性向上のための要望活動や勉強会等を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	215	215	215	
	決算額	(千円)	214	151	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	214	151	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,572	733	733	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	17.00	21.67	21.67	21.67	21.67
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	つくばエクスプレス 4 駅の 1 日平均利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	34,300.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	4 駅（つくば駅、研究学園駅、万博記念公園駅、みどりの駅）の 1 日平均利用者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	特になし	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	016 路線バス実証実験事業					
予算科目	01-080401-15			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	1	路線バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市公共交通改編実施計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	高齢化率の高い公共交通の希薄な地域における移動手段を確保し、利便性を向上させる。
概要 (取組内容)	路線バス運賃補填実証実験事業：茎崎地区から牛久駅間の路線バス（4路線）について、つくバス並みの運賃で利用できるように運賃を補填（※ICカード利用のみ） 桜地区を通る民間路線バスの便数を日中時間帯増便 茎崎地区と牛久駅間の路線バスを新規運行し、つくバス並みの運賃で実施

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	49,570	44,842	44,842	
	決算額	(千円) 35,323	44,824	44,133	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 35,323	44,824	44,133	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 3,798	3,659	2,200	2,200	2,200	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.50	0.50	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間) 108.33	108.33	65.00	65.00	65.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	路線バス運賃補填実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	53,436.0	53,436.0	53,436.0	0.0	0.0	0.0
	実績	79,236.0	58,469.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 運賃補填事業の対象便及び対象区間をICカードで利用した者の人数						

2	指標名	路線バス増便実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	11,967.0	11,967.0	11,967.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,960.0	10,319.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	日中時間帯に増便した野田団地線(つくばセンター⇄土浦駅※上ノ室経由)の利用者数					
3	指標名	路線バス運行実証実験事業の利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	16,276.0	16,276.0	16,276.0	0.0	0.0	0.0
	実績	27,075.0	21,825.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	「富士見台」と「牛久駅」間を運行する新規路線バスの利用者数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスの影響により、利用促進活動等を積極的に行える状況ではなかった。利用者動向も、公共交通離れや勤務形態の変更により減少している。	
成果	令和2年度は運賃補填実証実験事業が58,469人、増便実証実験が10,319人、路線バス運行実証実験事業が21,825人となっている。対前年度比7割～8割となっている。	
課題	業務	実証実験が令和3年度で終了となるため、結果を踏まえ代替えの事業が必要か検討する。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により、運賃収入が減り予算不足になる場合もあるため、利用状況を確認し、必要であれば補正予算で運行経費を確保する必要がある。
改善目標	荖崎地区の実証実験事業では、当初の目標値を超えており、利用が見込まれることが把握できた。つくば市公共交通活性化協議会の協議を通じて、費用対効果の検証や、本格運行の検討を進める。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業					
予算科目	01-080401-15			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1	61-2		係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	2	コミュニティバス「つくバス」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、都市内交通としての役割を担う。
概要 (取組内容)	9路線において、一日283便、年間365日コミュニティバスを運行する。 つくバス運行に伴う諸問題を解消するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	374,298	372,552	369,552	
	決算額	(千円) 246,825	310,668	352,365	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 246,825	310,668	352,365	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 15,107	11,707	11,732	11,732	11,732	
	内訳	正職員従事割合	(人) 2.00	1.60	1.60	1.60	1.60
		正職員時間外勤務	(時間) 400.00	346.67	346.67	346.67	346.67
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	コミュニティバス利用者数 (人/年)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	1,000,000.0	1,010,000.0	1,020,000.0	1,030,000.0	1,040,000.0	1,053,000.0
実績	994,202.0	646,036.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) コミュニティバス「つくバス」の利用者数 (全路線累計) ※目標値は令和元年度から設定					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	バス停新設要望や、バス停上屋等の設置等、利便性向上策を検討した。	
成果	バス停新設要望については、令和3年つくば市公共交通活性化協議会にて協議し、バス停上屋については、その契約等に係る協議を継続して行うこととした。令和2年度の利用者は646,036人であり、前年度と比較し6割となっている。	
課題	業務	西部シャトルの利用が少ないことや、上郷シャトルの最終便のダイヤ調整などの課題がある。
	組織、予算等	新型コロナウイルスの影響により利用が減ると、市負担額が増加することから予算不足の恐れがある。利便性向上等対応する必要がある。
改善目標	つくば市公共交通活性化協議会の協議を通じて、ルートや時刻表の見直し等利便性向上策について進める。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業					
予算科目	01-080401-15			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	管理係・政策係	
戦略プラン	II-5	1	3	デマンド型交通「つくタク」運行事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	特になし				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。バスへの接続及び交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保。
概要 (取組内容)	5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台に運行する。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	152,350	152,350	152,350	
	決算額	(千円) 143,941	146,225	146,723	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 143,941	146,225	146,723	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 12,068	6,532	5,866	5,866	5,866	
	内訳	正職員従事割合	(人) 1.50	0.90	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間) 597.00	173.33	173.33	173.33	173.33
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	デマンド型交通利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0	65,000.0
	実績	53,887.0	41,071.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	支線型バス実証実験運行により、一部の利用者がつくたくから支線型バスに移行したデータが得られたが、支線型バスを運行することによるつくたくの財政負担率の改善には至らなかった。このため、財政負担率の改善に向け、つくたくに代わる移動手段や、抜本的な改編が求められる。	
成果	利用者数は令和2年度は41,071人となっており、前年度比8割程度となっている。 出産支援運賃割引制度の導入 共通ポイントの追加「つくば警察署」 出産支援関連共通ポイント追加「筑波学園病院」「西大沼（なないろレディースクリニック前）」	
課題	業務	契約期間が令和3年度をもって終了するため、事業の継続や方法を、財政負担の状況を鑑みて令和4年度以降の形態を検討する必要がある。 停留所が多く、管理が行き届いていない状況である。停留所を見直す必要がある。
	組織、予算等	収支で、事業に対する市の財政負担率が高い状況が課題である。
改善目標	財政負担率の改善を図るため、料金設定の見直し等、つくたくの制度上の改善を検討する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	015 支線型バス実証実験事業					
予算科目	01-080401-15			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	61-1			係名	政策係、管理係	
戦略プラン	II-5	1	4	支線型バス実証実験事業	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市公共交通改編実施計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	特になし				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	高齢社会の進展に伴う、高齢者の移動手段の検討のため、生活に密着した地域の移動を担う新たな支線の検討を行う。
概要 (取組内容)	新たな支線交通として、10人乗ワゴン車を用いた支線型バスを2019年度から運行している。コースは、つくタク0D（起終点）データから、筑波地区の中心市街地を通るルートをもとに4コースを設定し、定時定路線とする。運行時間は、概ね8時～18時、土日祝日運行することにより、つくタクと差別化を行う。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	62,125	62,125	0	
	決算額	(千円) 0	61,404	61,751	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	61,404	61,751	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 0	9,512	9,532	9,532	9,532	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	1.30	1.30	1.30	1.30
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	281.67	281.67	281.67	281.67
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	年間利用者数 (人)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	15,840.0	15,840.0	15,840.0	0.0	0.0	0.0
実績	5,749.0	4,662.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) 「支線型バス」の年間利用者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	利用状況が少ない状況が続いており、新型コロナウイルスの影響により、予定していた利用喚起策であった体験乗車会ができないため、利用方法を案内する動画を作成し、区会回覧等で配布した。	
成果	令和2年度利用者は4,662人で前年度比8割となっている。	
課題	業務	令和3年度をもって、実証実験の期間が終了するため、事業終了へのプロセスや、今後どのような取り組みを行っていくのか筑波地区の住民に対して説明する必要がある。
	組織、予算等	財政負担率が非常に高い状況であり、このままでは同事業は続けることはできない。
改善目標	実証実験の結果を踏まえ、今後事業を実施する際に活用する。	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	1	事務事業の廃止を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	043 MaaS等の活用検討						担当部課	都市計画部総合交通政策課
予算科目	01- -						係名	交通政策係
市長公約							事業分類	新規
戦略プラン	II-5	1	5	MaaS等の移動サービスを活用したモビリティ			事業分類	自治事務（任意）
							事業体制	
							事業期間	毎年度
個別計画	特になし						SDGs	11住み続けられるまちづくりを
根拠法令等	特になし							

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	公共交通の利用促進を図るため、多彩な交通手段を予約から決済まで可能なMaaS等の活用を検討する。
概要 (取組内容)	民間企業が構築を進めているMaaSのプラットフォームを研究し、連携を検討する。また、既存の経路検索サイトへつくバス時刻等のオープンデータを積極的に提供する。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	0	0	0	
	決算額	(千円) 0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
	その他	(千円) 0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円) 0	0	734	734	734	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	0.00	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	0.00	21.67	21.67	21.67
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	経路検索サイトへのデータ提供数 (社)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	実績	3.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-①まちづくりを支える公共交通ネットワークの構築) NAVITIME等の経路検索サイトへのデータ提供数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各種MaaSに関する研究会や講演会に参加した。	
成果	つくば市地域公共交通計画に、MaaSを活用し、交通手段のシームレス化について施策として記載した。	
課題	業務	MaaSについては、スーパーシティ構想において各社より提案を得ているところであり、所管である科学技術振興課との調整のうえ、プラットフォームの構築を進める。
	組織、予算等	当課における予算は計上していない。
改善目標	MaaSの骨幹は、幹線交通である路線バスやTXなどの鉄道をシームレスにつなぐ必要があることから、これら交通事業者との調整は必須となる。このため、各種の団体や協議会を通じて、MaaSシステムの構築に向けた調整を進める。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	567 自転車のまちづくり推進事業						
予算科目	01-080401-20				担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	62-1	62-2	62-3	88-2	係名	自転車振興係	
戦略プラン	Ⅱ-5	2	1	サイクルモビリティマネジメント事業の推		新規・継続	
	Ⅱ-5	2	2	自転車が快適に利用できる環境整備		事業分類	
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画					事業体制	一部委託
	根拠法令等	自転車活用推進法、つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例					事業期間
						SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	クルマから自転車への転換を推進する。
概要 (取組内容)	環境に優しく、健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ、つくば市自転車安全利用促進計画に基づき、自転車の安全で適正な利用を促しつつ、市内の自転車利用の向上を図るため、安全教育や走行環境の整備、自転車通勤の推進などの各種取組を行う。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	9,819	2,628	2,628	
	決算額	(千円) 2,266	1,208	6,245	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 2,266	1,208	6,245	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 7,790	7,317	11,159	10,733	10,733	
	内訳	正職員従事割合	(人) 1.00	1.00	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間) 295.00	216.67	390.49	216.67	216.67
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	自転車のまちつくば推進委員会への市民委員の登用
実行	特になし
評価、検証	自転車のまちつくば推進委員会による事業評価

指標の推移

指標名	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合 (%)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	57.0	0.0	0.0	0.0	57.0
	実績	51.4	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(Ⅱ-5-②)自動車から自転車への転換の推進) 自転車施策に関するアンケート調査(5年に1度)の歩行者、自転車、自動車の共生に関する意識(共生できている割合) ※R1年度に実施					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	国や茨城県の自転車活用推進計画を踏まえた形での、つくば市自転車安全促進計画アクションプランの見直しは急務であったが、市民の自転車利活用をより一層強く推進する内容の計画とするべく、(仮称)つくば市自転車活用推進計画を新規策定することとした。
成果	(仮称)つくば市自転車活用推進計画策定の道筋を立てた。 ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」へのアクセスルート完成 市民の自転車利用推進の一助となりうる、旧筑波東中学校へのサイクリング拠点の基本構想を検討 新規事業である児童自転車用ヘルメット購入補助金制度手続の平準化を達成
課題	業務 交通分野にあって、バスやタクシーと比して自転車は各種規制が少なく、また国等の自転車施策もスピーディーであるため、前例にとらわれない発想とスピード感をもった事業推進が必要 組織、予算等 自転車を活用したまちづくりや地域の活性化に重点的に取り組むため「サイクルコミュニティ推進室」を設置 新規事業が多数あり、推進するための人員不足が喫緊の課題
改善目標	人員不足を解消すべく、業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を削減し、効率化を図る。 国や他自治体等の自転車施策に関する情報収集を日ごろから実施し、遅れが生じないようにする。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	自転車活用推進法の施行以降、国や茨城県を始め、あらゆるエリアにおいて自転車活用の機運が高まっている。それに加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、世界的に自転車利用の需要が高まっており、市民の声システムや、電話等で自転車に関する市民からの問い合わせも増えているため。

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	044 シェアサイクル					
予算科目	01-080401-20			担当部課	都市計画部総合交通政策課	
市長公約	62-2			係名	自転車振興係	
戦略プラン	II-5	2	3	サイクリングを楽しむためのサービス環境	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画				事業期間	単年度
根拠法令等	自転車活用推進法				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民、市内に在住・在勤・在学する者、来訪者等
目的	公共交通の補完による移動の利便性向上、中心市街地（つくば駅周辺）活性化への寄与、通勤時間帯を始めとした道路渋滞の緩和、更には市民の通勤手段の自転車への転換を後押しすることを目的とする。
概要 (取組内容)	シェアサイクル実施に向けた検討を実施。需要予測調査を行い、サイクルポートの設置場所、利用料金、自転車管理システム等について設計を実施。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	0	0	0	
	決算額	(千円) 0	0	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	0	0	0
	その他	(千円) 0	0	0	0	0	
人件費	人件費計	(千円) 0	0	2,360	3,507	3,507	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.00	0.00	0.30	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	0.00	130.17	43.33	43.33
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	新規技術を導入した自転車の試乗会及びアンケート調査
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	シェアサイクルの導入 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(II-5-②自動車から自転車への転換の推進) 国の補助制度活用可否を関係機関と調整して進めていく。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新規事業であるため、前年度課題はない。	
成果	他自治体で事業実施の実績があるシェアサイクル事業者や、既にシェアサイクル事業を実施している他自治体と打合せを実施することで、つくば市が必要とするシェアサイクル事業の仕様を確定導入する自転車の種別を精査することで大幅なコストダウンを達成	
課題	業務	多くの市民に利用してもらえるようなシェアサイクルポートの設置場所を決定する必要がある。
	組織、予算等	事業費を圧縮するべく、地方創生推進交付金（補助率1/2）の内示を得た。内閣府に提出した事業計画書の内容と齟齬が生じないように注意する必要がある。
改善目標	シェアサイクルは、事業者側においても発展途上の事業であるため、事業者と協働を図り、事業をよりよいものとするべく常に改善（マイナーチェンジ）を図る。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充	
理由	シェアサイクルは多数の自治体で実施されており、公共交通としての役割の色合いが濃くなっている。つくば市においても、つくバス、つくタク、路線バスではカバーしきれないエリアをカバーする公共交通機関としてシェアサイクルを導入する必要がある。	